

■高校野球のケーススタディー（第9回）■



高校野球のケーススタディー ～こんなプレイどうなるの？～

一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

高校野球における公式試合や練習試合の中で生じたプレイの中で、“こんなプレイ、ルールではどうなるの？”といった疑問について、ルールの側面から解説します。

○ 3塁走者が本塁へタッグアップしたとき、1塁走者が2塁を空過。その後、空過のアピールがありました・・・

昨年春の練習試合で実際に起きたプレイです。

1死1、3塁1B-1Sで次の投球時に1塁走者がスタート。打者が放った打球は、左中間へのフライ飛球となりました。左翼手がダイレクトで捕球（2死）したことを確認した3塁走者は、正しくリタッチ（触塁）を果たし、タッグアップで本塁へ到達しました。

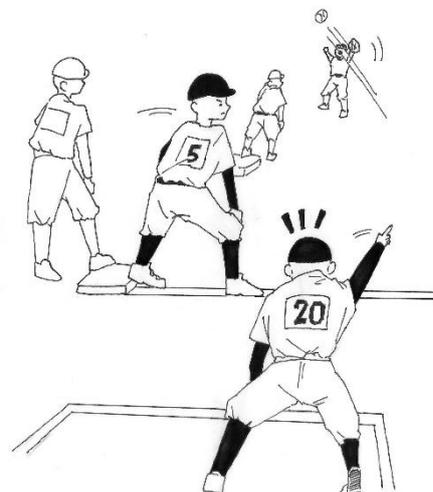
スタートを切っていた1塁走者は、2塁を回ったところでストップし、1塁へ帰塁しようとしたとき、明らかに2塁ベースを空過していました。左翼手から1塁へ送球されましたが、1塁走者の1塁への触塁が早くセーフとなりました。

その後、2塁手が1塁走者の2塁空過をアピール。アピールが認められて、1塁走者はアウト（3死）になりました。さて、このケースですが、タッグアップでホームインした3塁走者の得点は認められるのでしょうか。

このプレイを時系列で整理すると、①打者がフライ飛球で2死となり、②3塁走者がタッグアップでホームイン。その後、③1塁走者が2塁の空過でアピールアウト（3死）となっています。

【2塁空過のアピールについて】

まず、このプレイでは1塁走者が逆走の際、2塁を踏んでいなかったため、2塁手がボールを保持し2塁ベース上で走者の空過をアピールしました。このプレイについて、ルールを確認しておきましょう。



【規則 5.09(c)(2)】

ボールインプレイのとき、走者が進塁または逆走に際して各塁に触れ損ねたとき、その塁を踏み直す前に、身体あるいは触れ損ねた塁に触球された場合 ⇒ アピールがあれば、走者はアウトとなる。

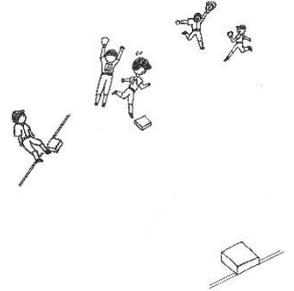
【得点について】

次に、得点に関しては、第3アウトがフォースアウト以外のアウトである場合、本塁の到達が第3アウトより早ければ得点が認められます。(規則 5.08(a))

【注1】 タイムプレイ)

したがって、第3アウトの成立と本塁の到達のどちらが早いかという点がとても重要となります。

では、このケースのように、第3アウトがアピールによる場合は、どの時点でアウトが成立するのでしょうか。(第3アウトの成立は・・・逆走で塁を空過した時点? 野手がアピールした時点? 審判員にアウトが認められた時点?)



【5.08 原注】 規則説明

塁を踏み損ねた走者または飛球が捕られたときにリタッチを果たさなかった走者に対して、守備側がアピールした場合、審判員がそれを認めたときにその走者はアウトになる。

2アウトのとき、後位の走者がアピールによって第3アウトとなった場合、前位の走者はそのアウトよりも先に正しい走塁を行って本塁に触れていれば得点となる。

この規定により、審判員がアピールを認めた時点で第3アウトが確定することになりますので、このケースでは、3塁走者の本塁到達が第3アウトよりも早く、得点1が記録されることになりました。

それでは、少し状況を変えて、次のケースで考えてみましょう。

1死1、3塁1B-1Sで次の投球時に1塁走者がスタート。打者が放った打球は、右中間へのフライ飛球となりました。右翼手がダイレクトで捕球(2死)したことを確認した3塁走者は、正しくリタッチ(触塁)を果たし、タッグアップで本塁へ到達しました。

スタートを切っていた1塁走者は、2塁ベースの手前で捕球されたのを見て1塁へ戻りましたが、右翼手からの送球でアウト(3死)になりました。3塁走者は、そのアウトよりも先に本塁へ到達していました。

さて、1塁でのアウト(第3アウト)がフォースアウトであれば、規則5.08(a)のとおり3塁走者の得点は認められませんが・・・3塁走者の得点はどうなるのでしょうか。

【フォースアウトとは・・・】

打者が走者となったために、進塁の義務が生じた走者が次の塁に触れる前に、野手はその走者またはその塁に触球した場合、走者はアウトとなる。(規則 5.09(b)(6))

第3アウトがフォースアウトのときは、そのアウトにいたるプレイ中に走者が本塁に進んでも得点は記録されません。

しかしながら、上記のフォースアウトの規定で分かるとおり、この事例における1塁走者のアウトは、フォースアウトではないため、1塁でのアウトよりも3塁走者の本塁到達が早ければ得点が記録されることとなります。(タイムプレイ)

